

# ほっと石川

1997  
新春号

県民と県政のネットワーク誌 第4号



# 石川らしさを 花開かせます

## 県民参加で生まれる心の豊かさ

伝統芸能や伝統工芸をはじめ、石川県には質の高い伝統文化が今も暮らしに息づいています。石川県では、これらの素晴らしい伝統の素地に新たな文化を融合し、さらに個性と魅力あふれる「ふるさとづくり」を目指しています。同時に、県民の文化活動への積極的な参加が、豊かさをより実感できる社会の実現につながります。文化による国際交流や産業振興も含めて、現在、県が進める主な文化施策をご紹介します。



## Contents [目次]

### 1997 No.4

- 特集  
はばたく文化立県 ..... 2
- 県政ウォッチング ..... 6
- 県リハビリテーションセンター ..... 6
- エッセイ ..... 8
- プロ野球選手  
松井 秀喜さん ..... 8
- 知事の怒 ..... 9
- エトランゼの石川 ..... 9
- 県農業短大教授  
ウオルター ..... 9
- ニューポートさん ..... 9
- 視点 ..... 10
- 「子育て支援」を考える ..... 10
- 施設ガイド ..... 12
- 県立歴史博物館 ..... 12
- 市町村トピックス ..... 14
- 中島町 桜旗祭りの郷  
鶴来町 パーク獅子吼 ..... 14
- ぼくも知事 ..... 15
- わたしも知事 ..... 15



「いしかわ秋の芸術祭 95」＝平成 7 年 11 月

## 芸能、音楽など多彩に 今秋、文化庁芸術祭

石川県では、今年九月から十二月にかけて、「文化庁芸術祭石川公演」を開催します。「伝統と創造の融合：新しい石川の芸術をめざして」をテーマに、石川の伝統芸能やファッションパフォーマンス、洋楽、軽音楽、洋舞、演劇など、バラエティーに富んだ内容となる予定です。

また、文化を通じた国際交流として、中国、韓国、ルクセンブルクから演奏家を招いた舞台や、ロシアのイルクーツク州立美術館が所蔵するアイコン（札

揮の対象とした聖像画）などの展示会も計画しています。

その事業規模は、平成七年の「いしかわ秋の芸術祭 95」を大きく上回り、これに伴い、会場も県下一円に広げる予定です。多くの県民がすぐれた芸術に触れることができるよう、また、地元のアーチストたちもできるだけ参加していただきたいと考えています。

## 生活に溶け込む膨大な文化資産

ご承知のように、石川県には輪島塗や山中漆器、九谷焼など、数多くの伝統工芸が継承されています。国指定の伝統的工芸品は十品目を数え、生産額は京都に次いで全国二位の約四百八十億円（平成六年）に上っています。一方、能や謡曲、日本舞踊に代表される伝統芸能のほかにも、高い感性に支えられた茶道や華道などの生活文化が浸透し、最近ではオーケストラ・アンサンブル金沢の活躍など、新しい文化の芽も育つてきています。

多様で質の高い文化の集積と担い手の存在。そして、それらの文化がふだんの生活にさりげなく溶け込んでいるのが、他県に見られない石川県の特色とも言えます。

## 県文化振興ビジョンを策定中

現在、策定を進めている「県文化振興ビジョン」でも、この石川らしさを

## コンサートホール・邦楽会館を 文化立県のシンボルに

県文化振興ビジョンは平成八年度中を目途に策定しますが、芸術祭をはじめ一部では既にビジョン具体化の動きが始まっています。能登地区や加賀地区からの利用者の利便性を考え、JR金沢駅東口で建設する計画の「石川コンサートホール・邦楽会館（仮称）」もその一つです。

石川コンサートホール・邦楽会館は、洋楽、邦楽専用のそれぞれのホールを持ち、和洋・新旧の文化融合と文化立県・石川の県都の玄関口にふさわしいシンボリック施設となります。コンサ

## はばたく 文化立県

特集



地域に根ざした伝統芸能も振興＝尾口村・文弥人形 浄瑠璃(じょうるり)「でくまわし」

# はばたく文化立県



トホールは駅前広場側に、邦楽会館はその南側に位置します。

コンサートホールは、オーケストラ・アンサンブル金沢の本拠地となるほか、他のクラシック演奏会も開かれます。国立劇場を除けば自治体運営では初となる邦楽会館は、邦楽、日本舞踊に加え、文楽や歌舞伎など多彩な展開を図る考えです。もちろん、広く県民の方々にもご利用いただけるよう施設の有効活用を努めます。

平成九年度中に設計を行い、十年秋着工、十三年春のオープンを目指します。デザイン、内装などは、整備が予定されている金沢駅



石川コンサートホール・邦楽会館(仮称)は、オーケストラ・アンサンブル金沢のコンサートや邦楽をはじめとする伝統芸能の舞台となる

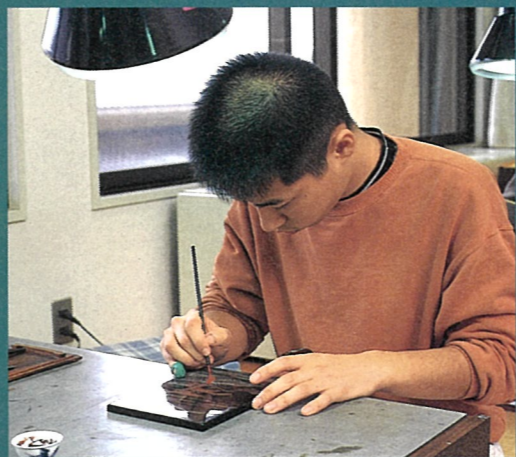


東口広場や伝統工芸王国にふさわしいものとし、駅周辺のコミュニティ施設の核にしていく計画です。

## 石川新情報書府で世界へ発信

今まで説明してきたように、石川県には膨大な文化資産が蓄積、継承されています。これらを最先端のマルチメディア技術によりデジタルデータベース化して保存することも、世界へ情報発信していくのが「石川新情報書府」構想です。

具体的には、世界中に張り巡らされたインターネット向けのホームページや高品位のCD-ROMを制作し、石川の文化を紹介します。平成八年度は、石川県の伝統文化を分かりやすくまとめた書府構想の全体像と輪島塗、山中漆器、九谷焼の計四部門でソフトを制作しており、順次、扱うテーマを増やしていきます。石川新情報書府の狙いは、これだけではありません。マルチメディアソフトの制作を通して、県内の情報・通信関連産業の高度化とベンチャービジネスの創出が期待されます。さらに、伝統工芸・伝統産業でも、関係者同士の情報交流や新たな受注機会の開拓



伝統工芸の担い手の養成はたゆまず続けられている  
＝輪島漆芸技術研修所

## 後継者の育成を推進

このほか、平成九年春には、山中漆器産業技術センターや美術工芸品修復保存工房がオープンします。

山中漆器産業技術センターは、山中漆器ならではの高度な挽き物技術の継承と、新たな漆器の研究開発などによる地場産業の振興を目指しています。同センターの完成で、既設の輪島漆芸技術研修所、九谷焼技術研修所と合わせ、県内の主要伝統工芸・伝統産業を担っていく後継者育成の場が完備されます。

美術工芸品修復保存工房は県立美術館の出羽町分室に設け、文化財や美術館・博物館の収蔵品の修復を行います。文化財修復技術の継承と人材育成のための研修講座を開設していく方針であり、石川の伝統文化を後世に残していく上で欠くことのできない裏方となります。

# 県民の活発な文化活動をフォローしたい

石川県知事  
谷本 正憲

## 石川県の個性は文化です

地方分権が時代の大きな流れとなる中で、その地域の顔が見えること、つまり、個性の発揮がとて重要になっています。個性ある県づくりは、石川県を世界に発信していく上でも大切なポイントです。

石川県には、他県にはない、すそ野の広い伝統文化や新しい文化の息吹きがあります。これに、さらに磨きをかけていくことが大切だと思っています。文化をつくるのは人間です。行政の役割は、県民の活発な文化活動を促すための施設整備や支援の強化だと考えています。文化の環境づくりと言えばよいでしょうか。

## 文化が国際交流、国際協力のテーマになってきます

具体的には、まず、石川の文化風土を形づくってきた伝統工芸や伝統芸能などの担い手の育成に力を注ぎたい。美術工芸品修復保存工房や山中漆器産業技術センターの整備、邦楽会館の建設の大きな目的は、伝統文化の継承と発展です。

同時に、オーケストラ・アンサンブル金沢などの新しい文化をはぐくむ取



り組みを、積極的に推進していくつもりです。さらには、「地球時代」を迎え、日本文化への関心の高まりとともに、今後、文化を通じた国際交流と国際協力が強く求められてくると思います。

## 地域色が香る施策を展開します

地域が個性を競い合うことで県全体の個性も輝きを増します。地理的、歴史的条件を踏まえながら、その地域の特色を際立たせる施策を展開していきます。

これと並行して、現在、県内に二十

四ある公共ホールのネットワーク化を進めています。一つのホールの単独公演では予算的に困難な催し物でも、複数のホールが連携すれば可能になるからです。

ただ、文化は予算を使つたからと言って、すぐには効果の出にくい性格のもです。現在、私たちが享受している石川の伝統文化も、歴史をたどれば加賀藩の長期にわたる手厚い文化保護と奨励政策に行き着きます。

文化振興については、長期的な視点で構想を立て、着実に実行に移していく考えています。

## 県民の皆さまと密接な連携を図ります

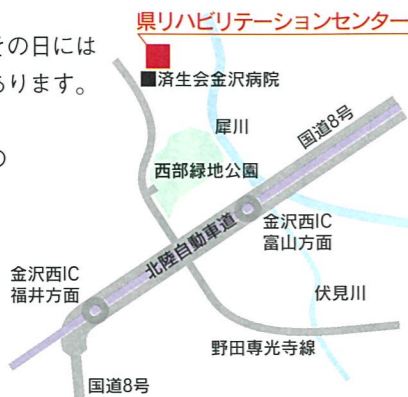
石川県の新長期構想では、「個性、交流、安心のふるさとづくり」を基本目標に、「石川らしい個性を発揮しつつ、世界的視野に立った文化のくにづくり」を目指しています。県文化振興ビジョンは、文化面でその具体化を図っていくものです。

しかし、文化だけが独立して存在するわけではありません。文化を核とした地域づくりと言えただけに、県民の皆さまの密接な連携、ご協力をお願いしたいと思います。

■石川県リハビリテーションセンター  
金沢市赤土町二13-1 ☎ 0762(66)2860

利用方法

- 電話照会 リハビリテーションについてのいろいろな相談は、ソーシャルワーカーまたは作業療法士が電話でお受けします。
- 相談日予約 原則としてあらかじめ予約が必要となりますので、電話でご照会のときに相談予定日をお知らせします。  
※直接来所されてもその日には対応できないこともあります。
- 料 金 相談料はかかりません。
- 相談日 毎週月、水、金曜日の午後1時～4時まで。
- 休館日 日曜・祝祭日  
年末年始  
(12月29日～1月3日)



交通(バス)

金沢駅より西部緑地公園行きバス→済生会金沢病院前下車、徒歩1分



平成6年にオープンした県リハビリテーションセンター



県内初の流水抵抗型プールを備えた水治療室

県政ウオッチング  
女性リポーターが行く

石川県リハビリテーションセンター

●リポーター  
金沢市涌波  
むらい ゆき  
村井 由紀さん  
金沢市出身。主婦。  
趣味は、油絵、絵  
画鑑賞、音楽鑑賞。



障害者の自立を支援  
バリアフリー推進工房も新設

交通事故の増加や高齢化の進行に伴い、体に障害をもった人が年々増える中、21世紀にはリハビリテーションが医療の主役になると言われています。今回の県政ウオッチングは平成6年にオープンした石川県リハビリテーションセンターを訪ね、その取り組みをうかがいました。

●基幹センターとして三つの役割

バリアフリーやリハビリテーションという言葉が近ごろよく耳にします。今は元気な私の両親も、いつかは高齢のため体が不自由になることも考えられます。県リハビリテーションセンターは、どのような施設なのか、興味津々で出かけた。県産業展示館を右手に見ながら海側にしばらく進むと、明るいベージュ色の建物が見えてきました。済生会金沢病院に隣接した鉄筋コンクリート四階建ての建物です。窓が大きく明るい雰囲気です。施設内には理学療法室、作業療法室、言語療法室などがあり、リハビリ専門の医師や理学療法士、作業療法士の資格を持つスタッフが働いているとうかがいました。センターの役割は大きく分けて三つあります。第一の目的は、県内のリハビリ関係者に対する教育や研修です。第二は、バリアフリー(障壁のない)社会に向けての自立支援機器の研究開発、第三が最新機器を利用した機能回復訓練です。県内の医療機関や施設などに対する技術支援や指導事業は、七年度だけで百三十四件に上ります。センターが、石川県のリハビリテーションの技術や情報発信の中枢としての役割を果たしているのです。

●自立支援器具の開発に着手

平成八年四月には、バリアフリー推進工房が新設されました。医師、リハビリ工学技師、理学療法士や作業療法士ら医

療の専門家と県工業試験場の技術者がチームを組み、実際のニーズに基づいた自立支援器具の開発を行っています。現在は、「車いす」をはじめとするいくつかの開発テーマに取り組みしており、研究開発室には、十数種類の車いすが並んでいます。改良に使うための工具もたくさん置かれており、開発チームが試行錯誤を重ねている様子が伝わってきました。

センターにはこのほか、障害のある方の自立を支援するさまざまな設備があります。日常生活訓練室では、浴室用の椅子など自立支援器具を実際に体験し、最も使い勝手のよい器具を選ぶことができます。

身体障害者自動車運転シミュレーションもあり、体に障害のある人が自動車を運転する場合に、障害に応じて車をどのように改造する必要があるのかを調べることができます。ここで訓練を行い、見事、試験に合格して免許を取得された方もいるそうです。充実したサービスに少し驚きました。



リハビリテーションに使う「車いすトレーナー」に挑戦

●一日平均二百人が利用

機能訓練を行う理学療法室や作業療法室にも、一日平均二百人が訪れています。そのうちの半数が済生会金沢病院の入院患者、残りの半数が通院患者で、主治医や保健所の紹介で利用することができま

す。広いドーム型の理学療法室には、エアロバイク(トレーニング用自転車)などの器具が置かれ、まるでフィットネスクラブのようです。車いすの人が腕の



体に障害のある人が自動車に乗る場合の改造箇所を調べる「身体障害者自動車シミュレーション」

力を鍛える「車いすトレーナー」を体験してみました。自分で車輪を回すのは、想像以上に力が必要で、一、二分でもうへトへト。県内初の流水抵抗型プールを備えた水治療室もあり、関節に負担をかけずに、歩行訓練ができます。

作業療法室でも、二十人ほどの人が、作業療法士の指導のもと、ワープロや編み物のカリキュラムをこなしています。地道な訓練が生活の自立につながる聞き、胸が熱くなりました。

理学療法士の方が言われた「リハビリは絶望と希望をつなぐ架け橋です」という言葉が印象的でした。

平成二年度には県内でリハビリテーションを行っている施設は四十四カ所でしたが、六年度には四十八カ所に増えています。自立した生活を望む障害者が増える中、県リハビリテーションセンターの活動を通じて、希望を持った生活ができるようになれば、本当に素晴らしいことだと思います。

プロ野球選手  
松井秀喜さん

ESSAY

ふるさとの空に  
特大アーチをかけたい

プロ野球読売ジャイアンツの松井秀喜さんは平成八年、リーグ優勝に貢献し、名実ともに球界を代表する強打者に成長しました。ふるさとの温かい声援に感謝を込めて、松井さんが寄稿してくれました。



今年こそはタイトルを

石川県の皆さま、変わらぬ声援ありがとうございます。昨シーズンは最高の年でしたが、平成六年の優勝もうれしかったのですが、今回は自分のバットでチームを引っ張ることができたから充実感が違います。プロの世界に入ってから四回目、ようやくファンの期待に応えることができたと思います。振り返れば、本当にあつという間の一年でした。初めてけがもなく過ごしたキャンプ。それでも、開幕当初は、「今年は打てるだろうか」と不安でした。それも、四月十日に第一号ホームランを打ったことで吹き飛びました。ホームラン王を逃したのは残念ですが、タイトルは今シーズンにとっておきます。



■プロフィール  
昭和49年石川県根上町生まれ。身長186センチ、体重95キロ。私立星稜高校卒業後、平成5年ドラフト1位で読売ジャイアンツに入団。背番号は55番。平成8年は本塁打38本、打率.314、打点99の好成績を上げ、チームを優勝に導き、セントラルリーグのMVP（最高殊勲選手）に輝いた。

だれもまねのできない  
ホームランを打つ

ところで、ファンからよくホームランの魅力について聞かれることがあります。人それぞれかもしれませんが、僕は「ホームランを打った瞬間、プレーが止まり、時間が自分だけのものになる」と答えています。それと、ファンが「えっ」と衝撃を受けるようなだれもまねのできない僕ならではの特大アーチを打ちたい。できることなら、ふるさとで皆さまに僕のホームランをお見せできれば。

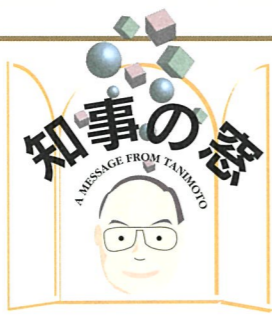
いまのところ、ペナントレースの日程に石川県は入っていませんが、いつかふるさとで試合をしたいと思っています。

「ふるさとの空に特大アーチをかける」。僕の夢が実現できる日を楽しみにしています。

パワーの秘けつは  
県産コシヒカリ!?

昨シーズン、バッティング以外で変わったことと言えば、合宿所を出て一人暮らしを始めたことでしょうか。これでも、朝は自炊してきちんと食べているんですよ。石川育ちの僕の朝食はもちろん「ご飯」。実家から送ってくる石川県産のコシヒカリを炊いています。これが、ホームランパワーの秘けつかもしれませんね。

東京で生活をして四年近くがたちます。でも、東京の騒々しさや慢性的な交通渋滞にはお手上げです。そんな時、石川ののんびりとした空気が懐かしく思い出されます。根上町の実家近くの田園風景や、母校の星稜高校周辺のハス田一面に咲くハスの花な



行政をもっと  
住民の身近に

「地方分権」という言葉から、どんなイメージを連想されますか。日常生活とかけ離れた「国と地方の権限争い」と思われている方も多いのではないのでしょうか。ところが、地方分権ほど私たちの暮らしを変えるものはないのです。例えば、幼稚園は文部省管轄の教育機関ということで、午後三時ごろに閉園する所も多いようです。働くお母さんたちは、もっと遅くまで預かってほしいと思いますよね。バス停を一つ動かすにも運輸省の認可が必要なんです。こんなことは、住民の身近にいて、地域のことを一番知っている県や市町村が決めればよいことだと思われませんか。地方分権が進めば、住民の皆さまのニーズに合った行政サービスができるのです。

でも、その前には、中央集権の厚い壁があります。分かりやすく言えば、「国が頭脳で、地方は手足」という中央の発想と上意下達のシステムです。確かに、中央集権は先進諸国に追い付き追い越せの効率優先主義の時代には有効でした。しかし、個性や心の豊かさが求められるこれからの時代には適していないようです。地方分権は国から与えられるものではありません。地方自らの意志と努力で築き上げていくものです。昨年、私も含めて十県の若手知事が「地方分権で生活を変える自治体連合」を結成したのも、地方分権を何とか国民的な運動に盛り上げていきたいとの熱い思いからにはかなりません。ぜひとも、皆さまにもご理解をいただき、多様な個性が輝く豊かな石川県をつくっていきましょう。

(谷本 正憲)

エトランゼの石川



Walter A. Newport III  
石川県農業短期大学 教授  
ウォルター・ニューポートさん

◆世界中がふるさと

私はアメリカ・カンザス州の生まれです。でも「ふるさと」という感情はありません。スペインやキューバなど数多くの国で生活したことのある私には、アメリカをはじめ、これらの国々すべてがふるさとなのです。

アメリカ海軍にいた私は、世界各国を訪れ、その国の文化に触れる機会に恵まれました。争いのない世界を実現するには、異文化を知ることがベストだと理解しました。そして退役後、再び大学でス

▲地球儀を手に異文化交流の楽しさを語るニューポートさん(右)野々市町の県農業短期大学

●プロフィール

アメリカ・カンザス州出身。アメリカ海軍を退役後、ミネソタ州立大、ノヴァサウスウィスタン大(フロリダ州)などで学び、教育学博士を取得。現在、石川県農業短期大学の教授を務める。講義はスペイン語と国際文化論。趣味は書道、スポーツ、ハーブを集めること。

イン語や世界各国の文化を学んだのです。

来日のきっかけは、メキシコでスペイン語の講師をしている時です。メキシコに滞在していた日本の友人に誘われ、十三年前に日本に来ました。

◆若者よ元気を出せ!

日本の若者は疲れているように見えますね。厳しい受験戦争の弊害かもしれません。世界の同世代の若者は、講義で活発な議論を交わしています。もっと、若者らしく元

を出しましょう。受験戦争に勝つことが、ゴールではありません。自分の「国境」を取り払い、世界に飛び出すことです。違う文化を持つ友人とのコミュニケーションは、新しい自分を探すことでもあるのです。

◆固定観念に縛られるな

平成八年から石川県農業短大で「国際文化論」を教えています。各国の衣食住をはじめ、農業の違いなどを学生に紹介しています。講義では日本語だけでなく英語やスペイン語も交えます。私の持論が「グローバル(地球)時代の人類として、二つ以上の言語を覚えよう」だからです。

最初は学生たちに戸惑いが感じられました。戸惑うのは「語学以外の講義は日本語です」という固定観念を持つからです。若者は固定観念に縛られてはいけません。



# 「子育て支援」を考える

## 健やかに生み育てる 環境づくりを

今回の「視点」は、女性の社会進出が進む中、課題となっている「子育て支援」を取り上げます。石川県では平成八年度より、公募で県民の皆さまから政策提言をいただく「オピニオンリーダー」制度をスタートさせており、このオピニオンリーダーから寄せられたご意見を誌上に掲載しながら、一緒に考えていきたいと思います。

### 女性の晩婚化と社会進出が顕著に

出生率がどんどん低下しています。一人の女性が生涯に平均して何人の子供を生むかを示す合計特殊出生率は、平成七年、一・四三となり、史上最低を更新しました。石川県は一・五四で全国平均を上回っていますが、昭和四十六年から四十九年の第二次ベビーブームをピークに減少傾向が続いています。

少子化の原因としては、女性の晩婚化が挙げられます。二十五〜二十九歳の女性の未婚者は、石川県の場合、二十年前の八人に一人から三人に一人となっています。同時に、生活水準の向上に伴う経済的理由やライフスタイルの変化などにより、女性の社会進出が活発化し、女性の就業率は五〇%を超えています。

つまり、育児と就労の両立を図ることが、少子化対策を考える上でも重要になってくるわけです。

### 県エンゼルプランを推進

この点について、オピニオンリーダーの意見は、「子供を預けながら安心して働ける環境が整っていない。家庭と職場のどちらかを犠牲にせざるを得ない現状では、子供を増やしましょうと言われても難しい」（宇ノ気町、主婦、34歳）などの声が目立ちました。松任市の主婦（39歳）は、「結婚して子供ができてモキリアウーマンとして働きたい人が多い。私も、子供を見てくれる人がいたら働いていた」と述べ、子育てを支援する施設や制度の充実を強く要望しています。

### 企業や地域の理解と協力も

このような状況を踏まえ、安心して子供を生み育てることのできる社会、子ども自身が健やかに育っていきける社会をつくるため、県では「石川県エンゼルプラン」を策定し、平成十二年度を目標に、利用実態に合った施設やサービスの具体化を進めていくと述べています。

もちろん、充実が必要なのは保育施設ばかりではありません。金沢市の主婦（33歳）からは「子育てが落ち着いたら仕事を持ちたい。生きがいを持って働けるよう、能力を向上させるための就業支援センターをつくってほしい」との提言もありました。

子育て支援はまた、行政の力だけで解決できる問題でもありません。「妊娠するのなら早目にやめてほしい」といった雰囲気職場にある（松任市、主婦、32歳）「育児休暇が生意気にみられる」（小松市、主婦、33歳）などの意見に象徴されるように、企業や地域の理解と協力も欠かせません。

そして、子育てへのお父さんの積極的な参加も重要です。「どんな法律を作っても、根底に『家事や育児は女性』という性差別の意識がある限り解決しない」（金沢市、主婦、57歳）との指摘が、女性側から多く聞かれました。

県では、子育て支援ニーズの増大と多様化に対応する目的から、平成八年十月にい

### すべての大人に課せられた責務

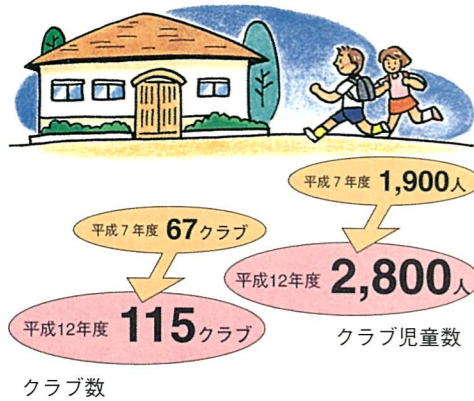
しかわ子育て支援財団を設立しました。一般県民への子育て支援に関する啓発や大型店舗での休日の育児相談の実施、子育て支援に関する人材確保などを推進しています。

男女共同の子育てについて、金沢市の主婦（32歳）は、アメリカでの生活で見聞した様子を報告してくれました。「共働きでも三人以上の子供のいる家庭が少なくなくなった。両親が協力し合いながら子育てをする態勢が、フレックスタイムの活用によって確立されていた。また、仕事と育児の両立は厳しいのが当たり前との覚悟がみなぎっていた」

少子化は、子供の健やかな成長への影響が懸念されると同時に、将来的には、高齢化の進行に伴う地域社会の活力低下や、経済を支える人材確保の面でも障害を生じさせます。「未来のために子供を育てる責務がすべての大人に課せられている。生命をなくむことの大切さをキャンペーンすべき」（金沢市、主婦、32歳）との提言もありました。

#### ■放課後児童クラブ

留守家族の小学校低学年児童を放課後保育する施設、学童保育ともいう



#### ■児童館

児童に健全な遊びを与えて、その健康増進、情操を豊かにすることを目的とする施設



#### ■延長保育

通常の保育時間(7時~18時)を超えて行う保育



#### ■一時的保育

家庭で子育てしている保護者の病気、冠婚葬祭、育児リフレッシュ時の一時的な保育



#### ■地域子育て支援センター

地域の保育所が連携して各種保育事業に取り組むとともに、家庭で子育てしている親やその子供への施設開放や育児相談などの支援を行う



#### ■乳児保育

入所時の年齢が0歳の児童の保育



#### Angel Plan

### 石川県エンゼルプラン 県全体の目標値

問い合わせ  
■子育て支援について  
県子育て支援課  
いしかわ子育て支援財団  
■オピニオンリーダーについて  
県広報聴室

0762(23)9132  
0762(62)1530  
0762(23)9106

**利用案内**

開館時間 午前9時～午後5時  
 (入館は午後4時半まで)  
 休館日 年末年始  
 (12月29日～1月3日)  
 資料の展示替え、整理の期間  
 入館料 一般 250円  
 (団体20名以上 200円)  
 大学生 200円  
 (団体20名以上 160円)  
 小中高校生 無料

※特別展開催中は、料金が変わることがあります

金沢市出羽町3番1号  
 ☎ 0762 (62) 3236  
 ☎ 0762 (62) 1386



吉村さんにとって思いがけない再会となった県内最古の商家建築と言われる「旧飛永家」

続いて、久美子さんも「あら懐かしいわ」。うかがえば、以前住んでいた鶴来町の自宅前が飛永家だったそうです。飛永家は同町で醤油醸造業を営み、建物は百五十年以上も前のもの。八年前に歴史博物館へ移築し、内部も当時そのままに再現しています。

**■甲冑の重さを体験**  
 明治、大正、昭和と郷土の歴史を振り返り、第二棟の歴史体験コーナーへ。駆け足で向かう昂大くんの後を貫生ちゃんが追いかけます。このコーナーは、児童や生徒が歴史を理解しやすいよう、資料を実際に手に取ったり、触れたりする体験型の企画に工夫を凝らしています。

早速、昂大くんが挑戦したのが、兜と鎧の着装です。凜々しいわが子の武者姿に目を細める両親とは対照



昂大くんが挑戦した甲冑の体験着装。「う〜ん。重い」

歴史博物館には現在、約三千点の資料が常設展示され、テーマを絞った特別展も年四回開かれます。また、毎月第三土曜日には、自由に参加できる「れきはくゼミナール」も開講しています。皆さんも一度、ゆっくりと石川の歴史散歩を楽しんでみてはいかがでしょうか。

**「周辺ガイド」**  
 金沢市本多町には、豊かな緑が広がる石川県本多の森公園があり、観光客や県民の憩いの場になっています。約四・七ヘクタールの同公園は、兼六園を中心とした「兼六園周辺文化ゾーン」の一つで、藩政時代の前田家の家老である本多家の屋敷跡を整備したものです。園内には、歴史博物館のほかにも県立美術館、県立能楽堂などの文化施設と藩政時代から残された樹木があり、散策道も整備されています。



本多の森公園は散策には格好のコース

**施設ガイド**  
 金沢市出羽町  
**石川県立歴史博物館**

●案内役  
 金沢市三十町町  
 吉村 真一さん (中学校教諭)  
 久美子さん (主婦)  
 昂大くん (8歳)  
 貫生ちゃん (3歳)



モダンボーイ、モダンガールが乗車し、大正ロマンの香りを漂わせる浅の川電車のジオラマ



**郷土の歴史を楽しく散歩**  
 兼六園に続く本多の森に、石川県立歴史博物館があります。赤レンガの建物と言え、ピンと来る方もいらつしやるのではないのでしょうか。「れきはく」の愛称で親しまれ、石川県の歴史を楽しみながら学べる歴史博物館を、吉村さん一家に案内してもらいました。

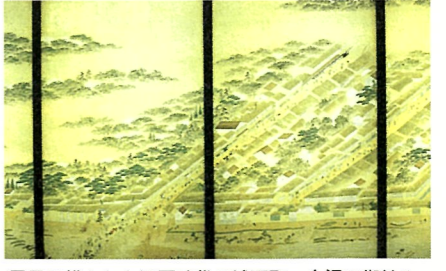
**■建物そのものが文化財**  
 歴史博物館の建物は、明治末から大正初期にかけて建てられた旧陸軍兵器庫です。戦後は金沢美術工芸大学の校舎となり、昭和六十一年、歴史博物館としてオープンしました。三棟ある建物は、それぞれ長さ約九十メートル、左右対象を基本にした美しい建築デザインです。平成二年には、国の重要文化財に指定されています。

歴史博物館というと、何だか堅苦しいイメージが浮かびますが、館内に入った吉村真一さんの第一印象は、「威圧感がなく、歴史の中に自然に入っている感じがする」。学芸員の本康宏史さんの案内で、古代から現代に至る石川の歴史と文化を展示した第一棟へ向かいました。

**■県内最古の商家を移築**  
 昂大くんは、約二、三万年前の石



3,000点の歴史資料が展示される館内



屏風に描かれた江戸時代の城下町・金沢の街並み

器や竪穴式住居のジオラマを目の当たりにして、早くも興味津々の表情。久美子さんも、古代へのタイムスリップを楽しみながら、資料を見つめます。縄文時代から古墳時代、平安室町、江戸時代へと歩を進めた一家の足が止まったのが、県内最古の商家建築と言われる「旧飛永家」です。「こんなところで再会するとは思いませんでした」との真一さんの声に

**クイズ みんなでチャレンジ**

全問正解者の中から抽選で50名の方に、石川県立歴史博物館のご招待券(1枚)と手帳をセットでプレゼントします。ふるって応募下さい。

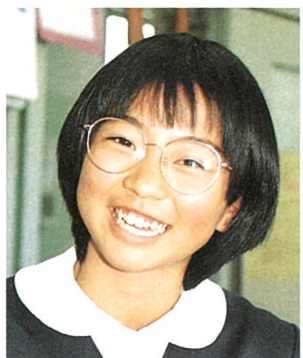
Q1 石川県立歴史博物館のオープンはいつでしょうか?  
 ①昭和41年 ②昭和51年 ③昭和61年

Q2 商家「旧飛永家」があったのは県内のどの市町村でしょうか?  
 ①金沢市 ②鶴来町 ③津幡町

Q3 石川県立歴史博物館で歴史体験コーナーがあるのはどこでしょうか?  
 ①第一棟 ②第二棟 ③第三棟

はがきに、クイズの解答と住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記のうえ  
 〒920-800 (住所不要)  
 石川県広報広聴室「ほっと石川」係までお送り下さい。

締め切りは平成9年2月末日。



### 「お年寄りのお世話をする人を増やそう」

押水町立相見小6年  
かしわぎ まみ  
柏崎 真美さん

私は、テレビなどを見て思いました。家に一人でこもりっきりのお年寄りの世話をする人がいたら、お年寄りの人たちはきっと喜ぶと思います。

家に一人きりでいるお年寄りは、年々、増えていると新聞やテレビで言っています。そんなお年寄りを励ますことができないのかなと強く思いました。

家に一人で住んでいるお年寄りも、老人ホームへいくことがあると思います。老人ホームへいくと、友達がたくさんできます。でも、お年寄りのお世話をする人

は足りなくなるかもしれません。

食事の世話をしたり、入浴の手伝いをするだけでなく、話し相手になってあげることが大切だと思います。それに、いっしょに遊ぶことも必要だと思います。

だから、お年寄りのお世話をする人が増えて、私たちだけでなく、お年寄りの人たちも楽しめる社会ができてほしいと思います。



### 「金沢城跡をこうしたい」

紫錦台中学校3年  
たけなか こうすけ  
竹中 康将くん

金沢大学が移転し、がらみどろになった金沢城跡地を公園化することになったと聞いてとてもうれしく思っています。

金沢は「城下町」と言われていますが、あまり「城下町」というイメージがわかないのが残念です。兼六園や武家屋敷、寺町などの印象の方が強烈に思います。

金沢を名実ともに城下町とするため、金沢城を金沢の一つのシンボルにしてはどうでしょうか。もし、僕が知事だったら、まず金沢城の南側、「いもり堀」を復元して市民の散策路とし、

移転後の県庁舎を城跡資料館にします。

さらに、かつて城外に移築されていた建物を元に戻します。例えば、尾山神社東門(旧二ノ丸唐門)や尾崎神社(旧御宮、金沢東照宮)など。これで、城跡公園と呼ぶにふさわしい景観になることでしょう。

あまり、城内に手を加え過ぎるとせっかく今ある自然が破壊されるので、そんな点も考慮しつつ整備していき、子々孫々にまで誇ることができる公園にしたいらいいかがでしょうか。

石川県には、41市町村があり、それぞれ工夫を凝らした個性あるふるさとづくりを進めています。このコーナーでは、各市町村の話題を取り上げて紹介します。

## 中島町 ● 杵旗祭りの郷 能登の奇祭を体験

中島町のお熊甲祭り(杵旗祭り)は、鉦や太鼓の独特のリズムが独特で、神の道案内と言われる猿田彦を先頭に、二十メートルを越える真紅の杵旗が村を練り歩く能登の奇祭です。毎年、九月二十日の祭りの日には、小・中学校も休校になり、町全体が祭り一色に染まるとのこと。



同町では、「杵旗祭りの独特のリズムを肌で感じてほしい」と期待を膨らませます。

中島町横田1部148番地  
☎0767(66)2200  
☎0767(66)2828  
入館料 大人 500円  
高校生 400円  
小・中学生 300円  
団体割引 50円引き  
(20名以上)  
開館時間 午前9時～午後5時  
休館日 毎週月曜日・年末年始

## 鶴来町

### ● パーク獅子吼 日本一の獅子頭がお迎え

平成八年四月、獅子吼高原のふもとに「パーク獅子吼」がオープンして以来、鶴来町の新しいレジャースポットとして話題を呼び十月末までに約十万人の人が訪れています。

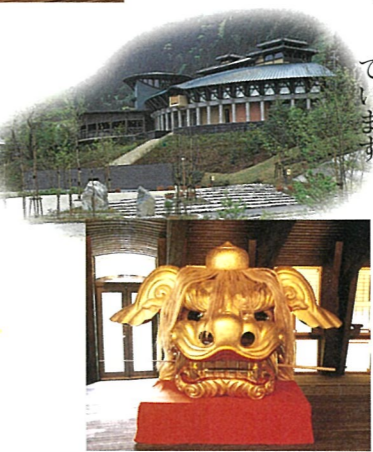
約十一・二ヘクタールの敷地には、世界中の獅子頭を展示した「獅子ワールド館」をはじめ、イベントホールの「ふれあい館」、鶴来町の地場産業である酒造業や木工業などを紹介した「ふるさと館」の三つの施設があります。アウトドア派のためにパーベキュー広場や池辺いこいの広場など自然を生かした空間も充実。

「獅子ワールド館」には、重量が一・五トンある雌雄一対の



獅子頭「夫婦魁獅子頭」があり、ひと際目を引きまします。もちろん、日本一の大きさです。「ふるさと館」は気軽に獅子頭作りを体験できる施設としても、人気を呼んでいます。

同町パーク獅子吼管理事務所では「鶴来町の伝統を凝縮したこの施設を学習や地場産業の振興、いこいの場にしたいたい」と好評ぶりに目を細めています。



鶴来町八幡町1110  
☎07619(3)8449  
☎07619(3)8450  
入館料(獅子ワールド館)  
大人 400円  
小学生 200円  
団体割引 50円引き  
(20名以上)  
開館時間 午前9時～午後5時  
休館日 毎週火曜日・年末年始

## ほっと石川・参加者募集

県民参加型の広報誌を目指す「ほっと石川」では、「県政ウオッチング」に登場していただく女性リポーター、「施設ガイド」で県管施設の案内役をお願いする家族を募集しています。

お問い合わせ、申し込みは、  
〒920-880(住所不要)  
石川県広報広聴室「ほっと石川」係

☎0762(23)9106  
☎0762(23)9474

住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記して下さい。

## 編集後記

● 石川県広報誌「ほっと石川」は二年目のお正月を迎えました。特集「はばたく文化立県」。いかがお読みになられたでしょうか。文化は県民一人ひとりが担い手です。皆さまと一緒に心豊かな石川をつくっていきたく思います。

● エッセイには松井選手に登場してもらいました。昨シーズンはチームの主軸として大活躍で、セリーグのMVP(最高殊勲選手)に輝くなど全国のファンをわかせてくれました。今年こそ念願のホームラン王のタイトルを取ってほしいものです。

● 少子化が大きな問題になっています。女性の社会進出に伴う仕事と育児の両立。社会全体で環境整備に努めていきたいと思います。若い力は未来の石川を築く大切な宝物ですから。





## パスポート窓口が金沢駅前へ移転しました

今まで県庁新館にあったパスポート申請と交付窓口が、金沢市本町の再開発ビル「リファール」3、4階の石川県国際交流センター内に移転し装いも新しくなりました。新しいパスポートセンターは待合室が広くなり、インフォメーションカウンターや交付専用窓口を設けました。これにより、交付待ち時間や発行期間の時間短縮が実現しました。発行期間は従来の7日間から6日間になっています。

また、石川県国際交流センターには、外国図書や新聞、雑誌を集めた海外情報ライブラリーや、県内の国際交流の情報などを提供する交流サロンなど国際交流の拠点となる機能を集約しました。



県国際交流センターが3・4階に入る「リファール」  
＝金沢市本町1丁目



窓口が増え交付待ち時間の短縮を実現したパスポートセンター

雑誌から専門書まで、海外の情報を集めた海外情報ライブラリー



金沢市本町1丁目5番3号 (JR金沢駅東口から徒歩5分)

☎(0762)23-9109

※車でお越しの際は、地下有料駐車場をご利用下さい

### < 3階 >

- パスポートセンター
- 国際協力事業団北陸支部
- 海外情報ライブラリー
- 交流サロン  
など

### < 4階 >

- 語学教室・会議室・ホール
- ユーロセンター金沢ブランチオフィス
- 国際協力センター

#### 【表紙写真の説明】

女性客の日本髪を結う美容師、正月は初詣や年始回りなど日本髪を結う機会が多い＝金沢市西泉2丁目の美容院

県政に対するご提言などを「前略 谷本知事」あてまで、郵便またはFAXでお寄せ下さい。  
住所・氏名・年齢・職業も明記して下さい。  
〒920180 (住所不要)  
石川県広報聴室  
「前略 谷本知事」あて  
☎0762(23)9474

前略  
谷本知事

